

東日本高速道路株式会社 北海道支社

支 社 長 堀 圭一

質問書に対する回答

(工事名) 道東自動車道 東占冠トンネル工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回答
1	<p>特記仕様書 (P36) 28-3 高盛土排水工 (3) 施工 6)において、“高盛土区間は緩速施工 (10cm/day 以下) にて施工を行うものとする”とあります。</p> <p>ここで、高盛土区間の基礎排水層 ($t=100\text{cm}$) や水平排水層 ($t=30\text{cm}$) の排水材に対してのみ 1 日当り排水 1 層を 10cm 以下で施工するということでしょうか。</p> <p>それとも、高盛土区間で路体盛土に使用するトンネルづくりについても対象とし、岩塊径（最大寸法）を 10cm 以下で管理し、1 日当り盛土 1 層を 10cm 以下で施工するということでしょうか。</p>	高盛土区間は、緩速施工 (10cm/day 以下) で路体盛土の施工を行うものとなります。
2	<p>高盛土区間の動態観測頻度が記載されていますが、冬期間の盛土作業休止期間の動態観測は積雪等で除雪を実施しなければ観測地点まで作業員がいけない場合も実施する必要があるのでしょうか。</p> <p>また、実施する必要がある場合は、その時の除雪費用は設計変更対象でしょうか。</p>	<p>冬期間については、土工施工管理要領に記載のとおり、特記仕様書 28-18 動態観測工 (4) 観測頻度に記載の盛土終了後に準じた観測が必要となります。</p> <p>また、冬期の観測において除雪は必要ないものと想定しているが、現地状況により監督員と協議となります。</p>

番号	質問事項	回 答
3	<p>金抜設計書 番号 194、195、196 の数量が 1440 箇所・日となっています。</p> <p>この数量は、720 日/1 箇所で、盛土期間が約 4 年ありますから 180 日/年となり、冬期間を除いた数量となります。</p> <p>これは、冬期間は観測する必要がないと理解してよろしいでしょうか。</p>	<p>冬期間については、土工施工管理要領に記載のとおり、特記仕様書 28-18 動態観測工（4）観測頻度に記載の盛土終了後に準じた観測が必要となります。</p> <p>なお、数量は、クロスアーム式沈下計観測 1,408 箇所・回、地中変位計観測 242 箇所・回、地下水位計観測 654 箇所・回が正となります。</p>